

名護市（日本・沖縄）とロンドリーナ市（ブラジル・パラナ州）が都市間連携事業に関する覚書を締結



概要

2026年8月4日、名護市（沖縄県）とロンドリーナ市（ブラジル連邦共和国パラナ州）は、「脱炭素社会実現のための都市間連携事業に関する覚書（MOU）」を締結しました。両市は1998年から姉妹都市交流を続けており、今回の覚書締結により、気候変動対策や脱炭素化に関する知見共有、日本の環境技術の導入検討、有機資源の活用、再生可能エネルギーの促進等について協力を進めます。締結式に合わせて、両市長、大学長による同席のもと、ロンドリーナ沖縄県人会によるレセプションやワークショップも開催され、ロンドリーナ市が手配した貸切市営バスによる現地視察も実施されました。同市の都市開発の取組を学びながら、今後の連携テーマについて協議しました。意見交換を行いました。



アマラル市長（左）と渡具知市長（右）



覚書締結後の集合写真



ロンドリーナ沖縄県人会によるレセプション
（両市長含め100名以上の日系人参加）



「YOKOSO」市バス貸切、
ロンドリーナ都市計画を視察